

## 市民ファーストで戦略的な三つの取組

### 一. 強靱

災害に強いまちにする



県内市町村初の国土強靱化地域計画に基づき強靱化を推進します

### 二. プロジェクト

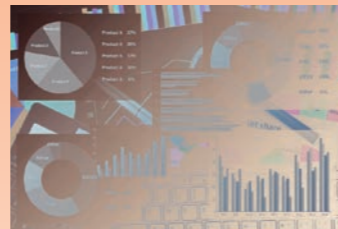
プロジェクトを推進する



新市建設計画における「先導的プロジェクト」を着実に推進します

### 三. 挑戦

あらたなチャレンジ



行政にAI(人工知能技術)の導入を目指します

## 平成31年度 施政方針

# 「未来(あした)を切り拓く挑戦の年」

発展的で持続可能な施策を大きく展開します



はじめに

今、わが国では、平成最後の年が始まり、また、新元号による新たな時代を迎えようとしています。

古河市にとって平成の時代での最も大きな出来事は、合併により新たな古河市が誕生したことであり、バブル経済の崩壊後、国、地方ともに税収は伸び悩みをみせ、人口減少社会に突入しようとしていた中、住民サービスの低下を招くことのないよう、合併を決定した先人たちに、あらためて敬意を表しますとともに、新時代への舵取りを引き継ぎ、大きな責務を全うする決意を新たにいたしました。

### 市政運営の基本方針について

#### 一 災害に強いまちにする

昨年6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、そして、9月の北海道胆振東部地震や台風による被害で亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。

このような自然の猛威に対して、行政が第一義的に取り組むべきことは、市民の皆さまの生命や財産を守ることです。市では、これまで、「市長と語ろうまちづくり」に

完了を目指すとともに、文化交流拠点の形成を着実に進めます。

#### 三 あらたなチャレンジ

近年、AIといわれる人工知能技術が飛躍的に進歩し、民間企業はもとより行政機関の多くの分野で本格導入に向けた動きが活発化されています。実際に地方自治体で試みられている事例としては、スマートフォンでの子育て相談への回答や保育所入所における施設割り振りの判断、戸籍関連業務などがあります。このことから、平成31年度は、市の業務においてAI技術をどのよう

### 〔以下分野別方針から一部抜粋〕

#### 1 市民協働について

現在、20の地区及び225の自治会や行政区等により、住民主体のまちづくりが進められています。これら組織の運営に関する交付金や、魅力ある地域づくり活動についての事業費補助など、自治組織の運営に対する財政的支援を行います。地域のコミュニティ活動として、

において、市民の皆さまと防災や減災についての意見交換を重ね、同時に国土強靱化地域計画の策定を進めてまいりました。

この計画に基づき、平成31年度は、災害への備えとして、ハザードマップやタイムラインなどの情報の周知、福祉避難所の開設や運営に関する準備を進めるなど、総力を挙げて強靱化に取り組んでまいります。

#### 二 プロジェクトを推進する

市におけるプロジェクトは、合併前に策定された新市建設計画において「先導的プロジェクト」として示されたものが合併後に推進されてきたところですが、昨年8月に実施した市民アンケートの結果では、約9割にも及ぶ回答者にプロジェクトが認識されていないことが浮き彫りとなりました。このことから、平成31年度は、あらためて合併時の約束であるプロジェクトについての周知活動を行うとともに、(仮称)南古河駅の設置については、新駅整備の実現に向けて、スピード感を持って強く事業を推進してまいります。

また、文化交流拠点としての古河駅東部土地区画整理事業地についても、新年度の早い時期に用途についての方針を決定し、区画整理事業の

夏祭りや三世代交流イベントの開催、防災訓練や広報紙の発行など、各地域の実情に見合った様々な活動が展開されています。このような地域活動に必要なコミュニティ組織が設立されていない3つの地区については、引き続き柔軟な形での設立に向けた支援を行います。

#### 2 健康福祉について

上辺見保育所の移転改築工事が間もなく完了し、4月から新たな施設運営を開始します。この保育所は最大で180人の児童を受け入れることが可能な機能を有しており、待機児童の解消に大きく寄与するものと期待しています。今後も公立保育所において十分な受け入れができるよう、保育士の適正配置及び確保を進めます。

子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、これまで実施してきたインフルエンザ予防接種の費用助成に加え、新たに任意接種であるロタウイルス及びおたふくかぜの予防接種費用の一部について助成します。

#### 3 教育文化について

小学校3年生から6年生までを対象としたイングリッシュキャンプについて、昨年の開催が大変好評で